

講義内容

○平成 27 年度合同講義 I・II (結核研究所)

テーマ：総合的な結核対策の推進－2020年の低まん延化に向けて－

講義の目的：

ストップ結核ジャパンアクションプランで目指している2020年の結核罹患率の低まん延化のためには、総合的な結核対策の推進の方向性を示し、各機関が連携して取り組みを強化する必要があります。そのような中で今年度は2011年に改定された予防指針で取り組んだ実績を総括し、次回の改定に向けて新たな課題を見出していく時期にあたります。またここ数年で潜在性結核感染症治療指針や結核の接触者健康診断の手引きなどが新たに策定・改定されており、それに基づいた対策の実施の検討も必要となります。今回は結核対策の基本や最新の疫学状況に加え、ここ数年の新たな結核対策の現状をご紹介します、低まん延化に向けての対策について課題を共有していきます。

講義内容：

1. 結核の基礎知識
2. 結核の疫学状況
 - ・日本と世界の動向
 - ・WHOのポスト2015年世界結核戦略
3. ストップ結核ジャパンアクションプラン
4. 「結核医療の基準」の見直し-2014年-
5. デラマニドの使用について
6. 医療提供の課題
 - ・地域医療連携
 - ・DOTS実施率
7. 病原体サーベイランス
 - ・分子疫学調査／薬剤耐性
8. 潜在性結核感染症治療指針
9. 接触者健診の手引き 運用のポイント

○平成 27 年度合同講義(厚生労働省)

テーマ：「最近の結核対策の動向と感染症法改正等を踏まえた今後について」

講義内容：

平成26年の感染症法改正が行われ、平成27年度は指針改正について審議予定であり、現行の結核対策及び上記の変更に関する方向性等をお話したいと考えております。

○平成 27 年度医師講義

テーマ：「結核診療－最近の動き－」

講義の目的：

デラマニドの多剤耐性肺結核への適用承認と「結核の医療基準」への収載、レボフロキサシンの結核症への適応承認の申請、潜在性結核感染症の治療の積極的推進（結核に関する特定感染症予防指針、結核病学会のLTBI治療指針）など、結核の治療に関して新しい動きが話題になっています。2014年に見直しが行われた「結核医療の基準」の変更点や追加点等を含め、最新の知見を紹介し、結核診療への理解を深めていただきます。

講義内容：

- ・ 結核の診断および治療の基本
- ・ 「結核医療の基準」の見直し－2014年
- ・ 潜在性結核感染症（LTBI）治療ガイドライン
- ・ 結核診療における抗酸菌検査の役割
- ・ 新しい検査法、治療薬
- ・ 結核院内（施設内）感染対策の手引き
- ・ 診断、治療が難しかった事例の提示

○平成 27 年度保健師・看護師等講義

テーマ：「結核のない世界をめざして～患者に寄り添う総合的なケアをめざして」

講義の目的：

結核に関する感染症予防指針の目標値には、DOTS 実施率 95% が示されています。2000 年に DOTS が導入されて 15 年目となり、結核専門病院だけでなく一般医療機関やさまざまな機関と、患者を中心とした地域連携の推進が各地で図られるようになりました。さらに今後は、法改正により服薬支援者が薬局や外来、訪問看護ステーションなどに拡大されることとなり、保健所を中心とした連携が期待されています。患者を中心とした総合的なケアと予防が求められていることから、早期発見、発病予防の重要性について感染管理部門や関連する多職種と連携し、結核の知識を普及啓発することを目的とします。

講義内容：

1. 結核の最新情報と基礎知識

-看護職として必要な結核の基礎知識

2. 患者支援 (DOTS) と医療・保健・福祉とのさまざまな連携

1) 早期発見 (高齢者施設、ハイリスク者など)

2) 治療の徹底 (LTBI 含む)

患者教育、服薬支援 (DOTS)、地域連携によるネットワークの構築

服薬支援者の役割、DOTS 実施率、服薬支援の評価

3) 生活習慣病と結核 (禁煙指導)

3. 院内施設内感染防止対策

抗酸菌エキスパート制度の紹介

感染管理認定看護師との連携

4. 資料添付 (介護施設・職員対象結核ハンドブックの紹介など)

○平成 27 年度診療放射線技師等講義

テーマ：「院内施設内における感染対策・医療被ばくの対応」

講義の目的①：「院内施設内における感染対策」

病院や高齢者施設では免疫学的に脆弱な方々が集まるため、結核の感染予防策が重要になります。これらの方々が発病しても典型的な症状が現れないことも多く、日ごろからの早期発見を心がけながら、職員の健康管理やハードウェアの整備などの対応が必要です。

講義では、結核対策の基礎的な内容を踏まえながら、院内施設内における感染対策の手法について新しい手引きに則り判りやすく解説します。また、IGRA検査、接触者健診、ハイリスク者対策、日本版DOTS戦略についての最新情報を含みます。

講義の目的②：「医療被ばくの対応」

放射線防護の基礎知識を再確認すると共に、結核対策で重視されている定期健康診断や接触者健診で用いられるエックス線検査における対応方法について解説します。さらに、接触者健診で用いられるCT検査の被ばく線量の考え方や測定法についての最新の情報を取り上げます。

医療機関に勤務する診療放射線技師にも、業務の中で活かしていただける内容です。

講義の内容：

- ・結核症の「感染」と「発病」
- ・院内施設内における感染対策
- ・IGRA検査
- ・接触者健診の考え方
- ・効果的なハイリスク対策
- ・日本版DOTS戦略、
- ・放射線防護の基礎知識
- ・医療被ばくの対応
- ・被ばく線量の測定法

● 主な対象：診療放射線技師

*本庁・保健所・病院・診療所・結核予防会支部・検診機関に所属している方

*事務職員・保健師・看護師・臨床検査技師など、他の職種の方の受講も可能です。

● 参加対象者への呼びかけ：

一般の医療機関に勤務する様々な職種の方々にも有用な内容を含んでいるため、ブロック地域内の病院や検診機関からの積極的な参加をお待ちしています。

公益財団法人結核予防会発行 参考図書一覧 (平成 27 年度)

*当日会場にて、結核予防会支部によりご案内いたします。

H27.4.2 現在

書 名	定 価 (消費税 8%含む)
【医師・看護職のための結核病学】	円
第 1 巻 基礎知識 (平成 24 年改訂)	1,296
第 2 巻 感染・発病の診断 (平成 24 年改訂)	1,296
第 3 巻 治療① (平成 25 年改訂)	1,296
第 4 巻 治療② (平成 25 年改訂)	1,296
第 5 巻 予防 (平成 26 年改訂)	1,296
第 6 巻 肺外結核症・非結核性抗酸菌症 (平成 25 年改訂)	1,296
増刊 コッホ現象／多剤耐性結核症 (平成 26 年改訂)	1,296
増刊 結核対策史	972
増刊 結核を病んだ人たち ―その生と死―	1,296
【単行本】	
結核と歩んで五十年	1,944
結核菌検査指針 2007	3,240
感染症法における結核対策 保健所の手引き (平成 26 年改訂)	4,860
結核の接触者健康診断の手引きとその解説 (平成 26 年改訂)	2,808
潜在性結核感染症・概念と診療のポイント	3,240
結核医療の基準 (平成 21 改正) とその解説	2,160
結核の統計 2014	3,240
現場で役に立つクオンティフェロン TB ゴールド使用の手引き (平成 24 年改訂)	1,728
抗酸菌検査を使いこなすコツ	1,728
世界の結核と日本 国際研修 50 周年を記念して	2,160
図説・結核の病理―結核症の発病、進展、重症化の機序	5,400
日常診療における肺結核を見落とさないために	1,080
結核院内 (施設内) 感染対策の手引き 実際に役立つ Q&A	1,080
【雑誌】	
保健師・看護師の結核展望 (年 2 回発行) ★最新 104 号	2,052
【パンフレット】	
結核?! でも心配しないで (平成 27 年改訂)	248
DOTS ってなあに (平成 26 年改訂)	248
知って治そう結核マンガ 沖田くんのタイムスリップ (平成 27 年改訂)	972
マンガ よく分かる非結核性抗酸菌症 (平成 25 年改訂)	864
ひとめでわかる BCG 接種の評価方法 ―解説シート―	515